

## 児童生徒の好ましい傾向と学習及び生活上の課題（概要）

藤井寺市教育委員会は、昨年度実施された平成25年度全国学力・学習状況調査の結果も踏まえ、今回の調査結果を分析いたしました。

学習については、ふだんの授業で自分の考えを発表する機会や友達と話し合う活動の場面が昨年度よりさらに多くなり、教員の授業における工夫改善が進められたことで、児童・生徒の「国語・算数・数学の授業の内容がよくわかる」という回答が増えています。一方、基礎的な学力は身に付いてきているが活用力の確立にはまだ達していない現状が見られることから、更なる授業の工夫改善と教育施策の充実に取り組んでまいります。

生活については、中学校においても朝ごはんを食べる習慣が徐々についてきています。また、学校のきまりを守っていると回答した児童・生徒の割合が、昨年度より小・中学校ともに増え、90%前後となっております。今後、子どもたちが将来の夢や目標を持ち、いきいきと日々の生活を送ることができるよう、自己肯定感を育む教育の推進を図ってまいります。

本調査によって見られる本市児童・生徒の好ましい傾向と学習及び生活上の課題の概要については、以下のとおりです。

### （1）学習について

#### 児童・生徒の好ましい傾向

- 学習した基礎的・基本的な知識や技能を身につけてきていること
- 国語において、漢字の読み書きができていること
- 算数・数学において、基礎的な計算ができていること
- 国語や算数・数学の授業の内容がよくわかると感じていること
- 算数・数学の勉強が好きだと回答した割合が増え、学習意欲が向上していること
- 授業で自分の考えを発表する機会が増えていること
- 中学校において、語句の意味を理解し適切に使うことができていること

#### 課 題

- 図形の特徴や割合・関数などで表されている数量関係や数学的な基礎用語を理解し、数学的な思考を行い、解決方法を見通すこと
- 式や言葉を使って論理的に説明すること
- 資料から目的に応じて必要な情報を適切に読み取ること
- 伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くこと

## (2) 生活について

### 児童・生徒の好ましい傾向

- 学校に行くのが楽しいと思うこと
- 朝食をきちんと食べて登校していること
- 学校のきまりを守っていること
- 物事を最後までやり遂げられること
- 家の人と学校での出来事などについてよく話をしていること
- 小学校において、読書が好きな児童が増えていること

### 課 題

- 毎日、同じくらいの時刻に寝て、規則正しい生活習慣を身に付けること
- テレビやビデオ、DVD を見る時間を決め、家庭学習や読書等の時間を確保できるように、計画的にバランスよく時間を活用すること
- 自分の良いところを1つでも多く見つけること
- 人やものとの出会いを通して、自分の将来の夢や目標を持つこと
- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しようとする事

学習面の課題から、各学校で「生きる力」（確かな学力・豊かな心・健やかな体）を育み、子どもたちが意欲的に学習し、学びの達成感を感じ、自己肯定感が育まれる授業が何よりも大切です。そのため、学校は多様な学習形態や指導法を組織的に研究し、日々の授業で実践する必要があります。

また、「本やインターネット等で、じっくり調べる活動」「話し合いで、考えを広げ深める活動」「自分の考えをまとめる活動」「自分の考えや説明したいことをわかりやすく表現する活動」等の言語活動を、全ての教科の授業で取り入れていく必要があります。

教育委員会では、「学力向上推進支援事業」をとおして、各学校の特色に応じた授業研究、授業作りの研修会の開催、個に応じた習熟度別指導の工夫等が推進されるよう支援してまいります。さらに、豊かな学びの環境作りのため、学校図書館支援事業や放課後学習、「ゆめ・志を育む教育」推進事業の一層の充実に取り組んでまいります。